

(2013年度)

## 5 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は16ページ，4問である。)

### 受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきらずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の短文①～⑳は、主に古代の社会的状況について記述したものである。よく読んで以下の問いに答えなさい。

- ① 安和の変などによる藤原氏の他氏排斥が強まった。
- ② ある法令の成立を契機に、貴族や大寺院などが初期荘園の開発に乗り出した。
- ③ 刀伊の入寇が起き、対外情勢が不安定であった。
- ④ 尾張国郡司百姓等解などに、当時の国司の苛政ぶりがうかがえる。
- ⑤ 『和漢朗詠集』などの文学作品が著された。
- ⑥ 新たな行政単位として郷や保などが現れた。
- ⑦ 醍醐天皇による親政があり、後代から天皇政治の理想とされた。
- ⑧ 藤原氏の権勢が高まった象徴的な事件、阿衡の紛議が起こった。
- ⑨ 藤原氏と他氏族の軋轢により、応天門の変などが起こった。
- ⑩ 都の治安管理のため検非違使を設けた。
- ⑪ 儀式書が尊ばれ『内裏式』などが編纂された。
- ⑫ 鎮守府を、多賀城から胆沢城に進めた。
- ⑬ 伊予の国司による反乱があり、社会的に不安定な時代と考えられた。
- ⑭ 陸奥国で国司に反抗する安倍頼時のような人物が現れた。
- ⑮ 諸国に押領使が置かれて治安の維持に当たった。
- ⑯ 神祇思想に仏教その他の考えを取り込んだ唯一神道が生まれた。
- ⑰ 僧尋尊の日記を中心にまとめた『大乘院寺社雑事記』は、この時期の重要史料である。
- ⑱ 時の政権は「御料所」と呼ばれる直轄地を持っていた。
- ⑲ 藤原式家の一員が、九州で乱を起こした。
- ⑳ 大規模な経営をする、いわゆる富豪百姓が権門との結びつきを強めるのもこの頃である。
- ㉑ 当時の仏教事情を反映した、著名な「往生伝」が続々と現れた。
- ㉒ 藤原氏の有力な4子が、天然痘で相次いで没し、皇族出身者が一時的に政治の実権を手に入れた。

- ⑳ 本籍を離れて浮浪する者が増加し、私度僧なども目立った。
- ㉑ ある僧侶の日本への渡航を記述した『唐大和上東征伝』が著された。
- ㉒ 漢詩文は貴族の主な教養であり、『懐風藻』はこの頃に編まれた。
- ㉓ 天皇の主導により蔵人所を設置し、情報管理に当たらせた。
- ㉔ 当時の中国から輸入された大唐米が、西日本中心に耕作された。
- ㉕ 村々をめぐる布教したある僧は、「御文」という簡単な文章で、念仏を唱えれば誰もが救われると説いた。
- ㉖ 伊治皆麻呂が多賀城を襲撃し、東北地方での大規模な反乱となった。
- ㉗ 諸国で『金光明最勝王経』などを読経させ、鎮護国家の理念を実践した。

**問 1** 上記の短文①～⑩について、平安時代開始期から10世紀の中間(950年)までの社会的状況を顕著に表した10件を選びなさい(10以外の件数を選んだ場合は、不正解とする)。

**問 2** 上記の短文①～⑩について、関連する次の問いに答えなさい。

(1) 短文①に関連して、安和の変で左遷された人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 藤原忠平    ② 源高明    ③ 藤原時平    ④ 橘広相  
⑤ 源満仲

(2) 短文③に関連して、刀伊の入寇の時に活躍した人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 源経基    ② 藤原伊周    ③ 源満仲    ④ 藤原隆家  
⑤ 伴健岑

(3) 短文④に関連して、ここで非難されていた国司は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 藤原元衡    ② 藤原元命    ③ 藤原元輔    ④ 藤原元永  
⑤ 藤原元善

(4) 短文⑧に関連して、阿衡の紛議の中心人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 藤原道長    ② 藤原頼通    ③ 藤原兼家    ④ 藤原時平  
⑤ 藤原基経

(5) 短文⑰に関連して、この史料ともっとも関係の深い寺院はどこか、次から1つ選びなさい。

- ① 東大寺    ② 興福寺    ③ 東寺    ④ 法隆寺    ⑤ 薬師寺

**2** 次の文章A～Cは、京都を軸に中世日本史を素描したものである。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

A 桓武天皇によって遷都された平安京は、古代末期以後、数々の戦乱に見舞われることになった。院と天皇、摂関家内部の政治闘争の爪牙となった源氏と平氏は、(ア)天皇と後継の(イ)天皇、それぞれの治世に起きた2つの合戦で鎬<sup>しのぎ</sup>を削り、治承・寿永の内乱を通じて決着をつけ、(ウ)による初めての武家政権(鎌倉幕府)の誕生をみる。このことは、日本列島内に朝廷と幕府の二元的支配をもたらしたが、その矛盾と軋轢が表面化した(エ)が幕府側の勝利に終わると、次第に一元化の方向へ進んでいった。(オ)上皇は幕府に従い、院に評定衆を設置して重要事項を審議させた。

B 鎌倉幕府を滅ぼした(カ)天皇は、京都を再び政治の中枢に復帰させた。しかし、その専制政治は武家や公家だけでなく庶民からの反発も招き、各地で反乱を生じて、大規模な南北朝の動乱を招来することになる。(キ)は征夷大將軍となって京都に幕府を開くが、政権内部の派閥間抗争が激化し混乱は長期化した。南朝はその対立を利用して一時期京都を回復するが、その勢力は次第に弱まり、3代將軍義満のもとでついに南北朝の合体が実現した。義満は室町に(ク)と呼ばれる邸宅を構えて政治を行い、朝廷の人事や儀式にも強固

な発言権を持ち始めた。その権勢は、彼の死に際して朝廷が( ケ )の称号を贈ろうとしたほどであった。

C 京都是全国経済の中心地として栄え、公家・武家・民衆文化の身分を超えた交流・融合により、茶道や花道といった新たな芸道を含む室町文化が発展した。これらは中央から地方へも波及し、各地で高い水準の文化的スポット(小京都)が生まれた。しかしその背景には、京都が長期にわたる応仁の乱の舞台となり、市街地の大半が戦火に焼かれ荒廃してしまった事情もあった。この内乱では、様々な政治的要素が複雑に絡みあっており、( コ )と( サ )が幕府における主導権を、( シ )と( ス )が将軍の後継をめぐる衝突し、応仁2年11月には、( コ )・( シ )と( サ )・( ス )がそれぞれ東軍・西軍に分かれて争った。京都で商工業者を核とした有力市民である( セ )が結束、町を単位とする自治組織を築いていったのは、そののちのことである。

問1 上記の文章A～Cの空欄( ア )～( セ )に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つずつ選びなさい。

- |        |         |        |        |
|--------|---------|--------|--------|
| ① 源頼朝  | ② 足利義視  | ③ 二条   | ④ 後鳥羽  |
| ⑤ 太上天皇 | ⑥ 足利直義  | ⑦ 花の御所 | ⑧ 細川勝元 |
| ⑨ 承久の乱 | ⑩ 観応の擾乱 | ⑪ 足利尊氏 | ⑫ 一揆   |
| ⑬ 山名持豊 | ⑭ 足利義満  | ⑮ 後白河  | ⑯ 平清盛  |
| ⑰ 柳の御所 | ⑱ 町衆    | ⑲ 准三后  | ⑳ 後嵯峨  |
| ㉑ 足利義尚 | ㉒ 足利義教  | ㉓ 後醍醐  | ㉔ 土倉   |

問2 下線部(a)について、朝廷と幕府の権力のあり方を正しく説明したものはどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 朝廷も幕府も、荘園公領制に立脚しているという点では同質であった。
- ② 幕府は、荘園の管理職を拡大させた武士層を基盤として持ち、国衙領を否定した。

- ③ 朝廷は、国衙領から貢納される税金を基盤として持ち、あらゆる荘園を否定した。
- ④ 幕府は朝廷の政治に介入しないことを原則としたが、『御成敗式目』には、常にこれを律令格式より優先すべきことが明記されていた。
- ⑤ 公家や有力寺社は朝廷へ、武士層は幕府へ帰属し、社会階層が両政権によって二分された。

**問3** 下線部(b)を反映する史料として、1334年に京都の二条河原に掲げられたという有名な落書がある(『建武年間記』所収)。ここに、「此比都ニハヤル物」と列挙された事柄として誤っているものを、次から1つ選びなさい。

- ① 夜討強盗謀論旨    ② 俄大名迷者    ③ 本領ハナル・訴訟人
- ④ 非御家人凡下ノ輩    ⑤ 生頸還俗自由出家

**問4** 下線部(c)について、その推移を説明した文として誤っているものを、次から1つ選びなさい。

- ① 初期の幕府政治は、足利尊氏・直義兄弟が職務分担する二頭政治であった。
- ② 尊氏が軍事指揮権を掌握して全国の御家人を支配し、直義は裁判権や行政権を行使した。
- ③ 尊氏の執事高師直と直義とが対立したが、1353年までには2人とも死没した。
- ④ 尊氏派が常に北朝側にあったのに対し、直義派は南朝を利用して抗戦したため混乱が深まった。
- ⑤ 尊氏の庶子直冬は直義の養子となり、ともに尊氏に対して反抗した。

問5 下線部(d)について、この造営費用は、守護・国人への課税によって賄われたという。室町幕府の税収について説明した次の短文のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 御料所からの収入は少なく、金融・商業・運輸の業者からの税収が中心だった。
- ② 金融・商業の業者への主な課税としては、土倉役や酒屋役などがあった。
- ③ 関所や津・港を通る人馬や荷物に、関銭・津料が課せられた。
- ④ 全国の幕府直轄領に限り、田地1段ごとに課された臨時税を段銭という。
- ⑤ 幕府の庇護のもとで金融活動を行った五山禅院からの献上銭・官銭も重要な財源となった。

問6 下線部(e)について、侘び茶を創出した人物をa群より、立花の名手として知られた人物をb群より、それぞれ1人ずつ選びなさい。

- [a群] ① 明恵 ② 如拙 ③ 村田珠光 ④ 武野紹鷗  
⑤ 千利休

- [b群] ① 善阿弥 ② 後藤祐乗 ③ 山崎宗鑑 ④ 池坊専慶  
⑤ 一条兼良

問7 例文A～Cが説明している年代について、次からもっとも適切なものを1つずつ選びなさい。なおCについては、応仁の乱が始まってから終息するまでの期間を含むものを答えなさい。

- ① 1399年～1477年 ② 1333年～1408年 ③ 794年～1246年
- ④ 794年～1221年 ⑤ 1350年～1452年

**3** 江戸時代後期の歴史的出来事について、以下の問いに答えなさい。

**問1** 19世紀前半の2つの年号をもって称される江戸時代の町文化が、生じた時期に該当する年号は次のどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 寛永    ② 元禄    ③ 享保    ④ 天保    ⑤ 文化

**問2** 次の文章中の空欄(ア)～(オ)に当てはまるもっとも適切な語句をa群より、それに関連する作品名をb群より、また、その作品の作者をc群より、それぞれ1つずつ選びなさい。

江戸時代の後期文学は政治や社会の出来事、庶民の日常生活が盛んに題材とされ、文学は一部の知識人の独占物でなくなり、広く民衆に愛好されるようになった。そのなかで、江戸の遊里の生活を題材とした(ア)が生まれた。またそこから庶民の生活を軽妙な会話で描く(イ)が盛んとなった。そうしたジャンルの諸本が絵を多用したのとは違って、文章を読むことに主体を置く小説が(ウ)であり、歴史や伝説に題材が求められた。また(エ)は、小説と異なる文学ジャンルを形成し、農村部に広まり、富農層を中心に各地に多くのサークルを生み出した。そのなかから川柳などが流行した。また、(オ)の分野では、竹本座の座元で近松門左衛門の指導を受けた人物が、3者合作の作品を世に出した。

- [a群] ① 和歌    ② 人情本    ③ 読本    ④ 浄瑠璃    ⑤ 合巻  
⑥ 俳諧    ⑦ 講談    ⑧ 洒落本    ⑨ 滑稽本    ⑩ 狂歌

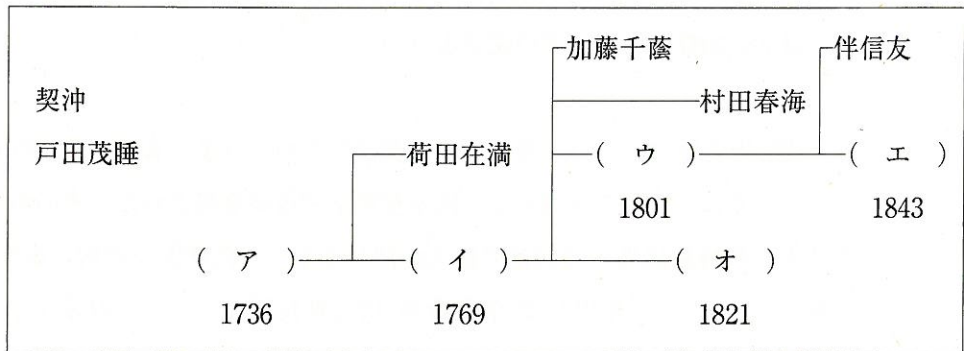
- [b群] ① 浮世床    ② 万葉代匠記    ③ おらが春  
④ 菅原伝授手習鑑    ⑤ 好色一代男    ⑥ 仕懸文庫  
⑦ 雨月物語    ⑧ 養生訓    ⑨ 読史余論    ⑩ 曾根崎心中

- [c群] ① 島村抱月    ② 上田秋成    ③ 山東京伝    ④ 貝原益軒  
⑤ 式亭三馬    ⑥ 太宰春台    ⑦ 小林一茶  
⑧ 河竹黙阿弥    ⑨ 竹田出雲    ⑩ 井原西鶴



問3 元禄時代に始まった古典の実証的研究は、18世紀に新たな段階へと進んだ。次に示す系統図は、『万葉集』をはじめとする古典研究から、『古事記』や『日本書紀』の歴史書に研究を移し、そのなかから日本古来の精神を明らかにしようとした学問の流れを示すものである。(ア)～(オ)に当てはまるもっとも適切な人名を、d群から1つずつ選びなさい(年代はその人物の没年を示す)。また、それぞれの人名の説明としてもっとも適切なものを、e群から1つずつ選びなさい。

[系統図]



- [d群] ① 中江藤樹 ② 平田篤胤 ③ 塙保己一 ④ 本居宣長  
 ⑤ 林羅山 ⑥ 賀茂真淵 ⑦ 荷田春満 ⑧ 山鹿素行  
 ⑨ 新井白石 ⑩ 山崎闇齋

- [e群] ① 古典を収集、分類した『群書類従』を編纂し、幕府の援助により和学講談所を開いた。  
 ② 寛永年間の朝鮮国書で使用された「大君」を「日本国王」に改めさせた。  
 ③ 儒教、仏教を排斥して日本古来の純粋な信仰を尊ぶ復古神道を大成した。  
 ④ 『創学校啓』を書いて国学の学校建設を説いた。  
 ⑤ 京都に私塾古義堂を開いた。  
 ⑥ 治国=政治を重視して、礼楽、制度を整えることの重要性を説いた。

- ⑦ 『源氏物語』を研究し、「もののあわ(は)れ」を主張した。
- ⑧ 明の王陽明の思想を受け継いで現実批判の「知行合一」の立場を説いた。
- ⑨ 儒教、仏教などの外来思想の影響を受けない日本思想を研究し『国意考』などを著した。
- ⑩ 『聖教要録』を著して朱子学を批判し、古代の聖賢に立ちもどることを主張した。

問4 次の文章中の空欄(ア)～(エ)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。

8代将軍吉宗は、実学と新しい産業奨励のため、さまざまな政策を打ち出した。とくに、実用の学問として医学や科学技術が重視された。そのうち、キリスト教書籍以外の外国書の輸入が解禁となり、西洋医学の解剖書『ターヘル＝アナトミア』を訳した『解体新書』は前野良沢と(ア)の労作として知られた。また仙台藩の医師(イ)は『蘭学階梯』を著し医学の発展に貢献した。西洋天文学の知識も知られ、天文、暦学を学んでいた高橋至時によって(ウ)暦が作られ、また、オランダ通詞であった(エ)が『暦象新書』を訳出して、ニュートンの万有引力やコペルニクスの地動説を紹介した。

[語群]

- |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| ① 新井白石 | ② 安藤昌益 | ③ 高野長英 | ④ 宇田川玄随 |
| ⑤ 杉田玄白 | ⑥ 伊能忠敬 | ⑦ 司馬江漢 | ⑧ 頼山陽   |
| ⑨ 大槻玄沢 | ⑩ 稲村三伯 | ⑪ 緒方洪庵 | ⑫ 渡辺崋山  |
| ⑬ 志筑忠雄 | ⑭ 西川如見 | ⑮ 阿部正弘 | ⑯ 寛文    |
| ⑰ 享保   | ⑱ 天保   | ⑲ 寛政   | ⑳ 文政    |

4 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

アジアでは日中戦争が長期化し、ヨーロッパではナチス・ドイツが各地を席卷した1940年、日本ではそのドイツの勢いに乗じようとする軍部が日独伊三国防共協定の強化に消極的だった(ア)内閣を陸相の辞職、後継陸相の不任命によって倒閣に追い込んだ。そして、後任の首相を中心としてすでに展開していた新体制運動は彼による内閣の成立後、すべての政党を解散し、官製団体の大政翼賛会となった。一方、この内閣の(イ)外相による独自の構想・世界観に基づいて日独伊三国同盟が締結された。また日本は、対中援助ルートの遮断および戦略物資の獲得のため、北部仏印に軍隊を進駐させた。

これに対して、米国が反発して、戦略物資の対日禁輸措置をとると、日米間の衝突を避けるため、1941年には日米交渉が始まった。その一方で、外相の主導で日ソ中立条約が締結されたが、これは、北方からの脅威をおさえるとともに、米

国との関係を調整する狙いもあった。

しかし、同年(ウ)月にドイツがソ連に侵攻して独ソ戦が勃発すると、日本は、南進・北進とも準備しつつ、南部仏印に進駐した。それに対して、米英は日本への態度を硬化させ、米国は、さらなる対日経済制裁を行った。それを受けて、日本政府は、同年9月の御前会議で10月上旬を日米交渉の期限に定め、交渉不成立時は同月下旬を目標に対米英開戦にふみ切るとの方針を決定した。そして、内閣が総辞職し、後継内閣は当面は日米交渉を続けたものの、11月下旬の日本側の最終案に対する米

国側の回答案は、日本側からすると満州事変以前の状態に戻ることを求めた最後通牒に等しいものであった。

これを受けて、日本は対米英戦を決意し、同年12月8日、英領(エ)およびハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、その直後に米英に宣戦布告し、太平洋戦争が開戦した。そして、それを受けて独伊両国が対米宣戦を布告したため、第二次世界大戦は、米英などの連合国と日独伊などの枢軸国間で世界的規模で戦われるものとなった。

日本は太平洋戦争開戦翌年の1942年から、経済・生産面において各種の法令を制定して管理・統制を図った一方、戦局は1942年6月の(オ)海戦での大敗北

以降、劣勢に陥った。そのような状況のなか、文学においても抑圧が加えられ、1942年には日本文学報国会や大日本言論報国会が結成され、文学者や言論人を戦争に協力させる体制が作られた。<sup>(j)</sup>

日本は1943年11月、軍事的劣勢を挽回するために「大東亜共栄圏」の結束を誇示すべく、大東亜会議を東京で開催し、「欧米帝国主義からのアジアの解放」を内容とする大東亜共同宣言を採択した。<sup>(k)</sup>しかし、アジア各地における日本の政策は、実際にはアジアの住民の反発・抵抗を招いた。また、日本の主張に対抗すべく、米英中三国の首脳は同年同月、(カ)において会談し、対日戦遂行・処理案を決定・発表した宣言を出したが、そこでは「日本帝国主義からのアジアの解放」が唱われていた。

その後、戦局が日本にとっていっそう不利になった1944年7月、日米開戦以来の内閣はその責任をとって総辞職し、後任の首相には(キ)が就いた。しかし、日本にとっての戦局の劣勢はいっそう深まっていった。

問1 前掲の文章中の空欄(ア)～(キ)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 空欄(ア)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 林銑十郎      ② 阿部信行      ③ 平沼騏一郎      ④ 米内光政

(2) 空欄(イ)に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 松岡洋右      ② 広田弘毅      ③ 有田八郎      ④ 野村吉三郎

(3) 空欄(ウ)に入る数字はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 4      ② 5      ③ 6      ④ 7

(4) 空欄( エ )に入る地域はどこか。もっとも適切なものを、次から1つ  
選びなさい。

- ① インド    ② マレー半島    ③ ビルマ    ④ シンガポール

(5) 空欄( オ )に入る地域(海域)はどこか。もっとも適切なものを、次か  
ら1つ選びなさい。

- ① マリアナ沖    ② レイテ島    ③ マレー沖    ④ ミッドウエー

(6) 空欄( カ )に入る場所はどこか。もっとも適切なものを、次から1つ  
選びなさい。

- ① カイロ    ② テヘラン    ③ ヤルタ    ④ カサブランカ

(7) 空欄( キ )に入る人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選  
びなさい。

- ① 木戸幸一    ② 小磯国昭    ③ 鈴木貫太郎    ④ 杉山元

**問2** 前掲の文章中の下線部(a)~(k)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(a)の説明として誤っているものはどれか。次から1つ選びな  
さい。

- ① この基となった日独防共協定は、1936年に調印された。  
② 日独防共協定は、付属秘密協定においてソ連を仮想敵国としていた。  
③ イタリアが加わって日独伊三国防共協定となったのは、1938年だっ  
た。  
④ 日独伊三国防共協定は、英仏に対する枢軸体制強化のためのものでも  
あった。

(2) 下線部(b)の人物の説明として正しいものはどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 彼は、この時が初めての首相就任だった。
- ② 彼は、皇族の出であった。
- ③ 彼は、私的な政策研究会である昭和研究会の支持を受けた。
- ④ 彼は、のちに暗殺された。

(3) 下線部(c)の説明として正しいものはどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 東京において調印された。
- ② 3国は、欧州とアジアにおけるそれぞれの指導的立場を認めあった。
- ③ 3国のうち1国が攻守を問わず第3国と交戦状態となった場合、残りの2国はその1国を自動的に援助することを約束しあった。
- ④ 条約の対象としては、ソ連も含めていた。

(4) 下線部(d)のなかに含まれない物資はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 穀物      ② くず鉄      ③ 鉄鋼      ④ 航空用ガソリン

(5) 下線部(e)の説明として誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① きっかけは、前年1940年末の日米双方の民間人同士の交渉であった。
- ② 1941年1月から政府間交渉として始まった。
- ③ 日本側代表は、野村吉三郎駐米大使だった。
- ④ 米国側代表は、ハル国務長官だった。

(6) 下線部(f)の説明として誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① モスクワにおいて調印された。
- ② ソ連側は、モロトフ外相が調印した。
- ③ 相互間の中立友好および領土保全・不可侵を約束した。
- ④ 有効期限は10年間であった。

(7) 下線部(g)の説明として正しいものはどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 最後の元老であった西園寺公望が首相を推挙した。
- ② 首相となった東条英機は、陸軍の出身だった。
- ③ 外相には、日米交渉継続を条件に重光葵が就いた。
- ④ 鉄道相には、戦後に首相となる岸信介が就いた。

(8) 下線部(h)のなかに入らないものはどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 中国および仏印からの撤兵
- ② 満州国および汪兆銘政権の否認
- ③ 日独伊三国同盟の実質的廃棄
- ④ 日ソ中立条約への米国の参加

(9) 下線部(i)のなかに含まれないものはどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 賃金統制令      ② 食糧管理法      ③ 企業整備令
- ④ 軍需会社法

(10) 下線部(j)の2つの会の会長となったのは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 林房雄      ② 亀井勝一郎      ③ 徳富蘇峰      ④ 保田与重郎

(11) 下線部(k)の会議に参加しなかった国・地域はどこか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① フィリピン    ② タイ    ③ ビルマ    ④ インドネシア